



ペルーの日系人で唯一ピスコを製造・販売する城間ミゲルさん（左から2人目）＝9日、北中城村のホテルコスタピスタ

ペルーの地酒紹介

2世の城間さん

【北中城】第5回世界のウチナーンチュ大会を前

に、県系2世でペルー在住の城間ミゲルさん(63)が生産・販売するペルーの地酒「ピスコ GUSUKU MA」が県内に初上陸した。ペルーでピスコを製造している日系人は城間さんが唯一。9日には、ミゲルさんの父仁亀さんの古里・

北中城村のホテルコスタピスタで試飲会が開かれた。ピスコはペルー産のブドウを原料にした蒸留酒で、ペルー国内で最も飲まれている地酒の一つ。城間さんが造る「GUSUKU MA」は芳醇なブドウの香りとさっぱりとした味わいが特徴で、サワーとして飲むのが一般的な飲み方。アルコール分は40度。

城間さんは「ピスコを沖縄に紹介したいとの願いがかなった。ブドウを100%使用しており、体にも良い。ロックで飲むのがお勧めだ」と太鼓判を押す。

父の代から家族でブドウ農家を営む城間さんは10年前にピスコの製造を開始。年間約1万5千本を出荷している。

お披露目は、「GUSUKU MA」を岐阜県で販売するギアリンクス(中田智洋社長)と「ピスコを沖縄に紹介する会」が、県内に広めようと開催した。

中田社長は「2年前に城間さんのピスコに出合っただけで、これだと思った。多くの県民にも城間さんのピスコを飲んでほしい」と話した。県内での販売はまだ未

定で、今後販売する。問い合わせ先はギアリンクス ☎02(1)545。